

サーバーセキュリティのかかりつけ医になりたいツール”moff”

サーバーの脆弱性対応と医療は似ている

医療の場合

サーバーの脆弱性対応の場合

検査を受けようとする



理由：

- ・なんか体調悪い...
- ・最近検診受けてないから心配だな...
- ・緊急で病院に搬送される

理由：

- ・なんかサーバーの動作が重い...
- ・最近検診受けてないから心配だな...
- ・緊急で脆弱性に対応する必要がある

適切な検査を受ける



レントゲン
血液検査
エコー検査

Vuls
Trivy
OpenVAS

検査結果から対処法を考案する



血液検査から杉花粉への過剰な反応が見られた
→点鼻薬や飲み薬の処方

Vulsのスキャン結果からCVSSの評価が悪い脆弱性が発見された
→スキャン結果からデプロイ案を作成

注文をする

- ・昼間眠くならないでほしい
- ・毎食飲みたくない
- ・とにかく症状に効くものが飲みたい

- ・今再起動してほしくない
- ・一定以上の危険性に対処するデプロイをしてほしい
- ・もう全部安全なものにデプロイしてほしい

対処法を考える

- ・薬の安全な飲み合わせ
- ・症状の重さに合わせた投薬の量

- ・パッケージの依存関係
- ・CVSS、SSVCの値の参照

対処法を実行する



近くや好きな薬局で処方された薬をもらう

AnsibleやChefに対して必要なファイルをmoffから出力し、デプロイ
MoffのUIからもデプロイ操作をできる

<https://github.com/shuumai/moff>
にて適宜更新中です！